

令和4年度水質検査計画を策定しました

水道企業団では、市民のみなさんに安心して水道水をご利用いただくために、法令に基づいて水質検査計画を策定し、水質検査をおこないます。

● 毎日検査

各浄配水場(4か所)から採水し、色、にごり、消毒の残留効果等について毎日検査をおこないます。

また、桶川・北本市内の9か所の給水栓においても、同様の検査をおこないます。

● 水質基準項目の検査

各浄配水場の系統ごとに、水質基準に関する項目の一部または全部の検査を毎月おこないます。

水質基準は、全51項目あり、人が生涯にわたり飲み続けても健康に影響のない

ように、また生活用水としての使用、水道管などの施設に障害がおこらないように基準が設定されています。また水源となる深井戸の水(原水)についても年1回検査をおこないます。

● 水質管理目標 設定項目の検査

厚生労働省は水質基準を補完する目的で水質管理目標設定項目を定めています。

各浄配水場の系統ごとに、将来にわたり水道水の安全性の確保等に万全を期すために年1回検査をおこないます。

● 水質検査の方法

水質検査は、水道企業団職員による教育・訓練を受けた者及び厚生労働大臣の登録を受けた者に委託しておこないます。

水質検査計画はホームページで閲覧できます

<http://water-okekita.jp/>

スイテキマン & 水博士の 水道講座

Vol.3
水道水と
ミネラルウォーター



スイテキマン
好奇心旺盛で博士を買問攻めにする。飲料水なら何でも好き。



水博士
水道や水のこと、いろいろ知っている。博士を逆さにして眺めてはいけない。

スイテキマン(以下スイ)
「ゴクツ、ゴクツ。プハーツ！今の時期の水道水はそのまま飲んででもいいね。」

水博士(以下博士)

「水は適度に冷えているとおいしくなるから。でも、一気に飲んでお腹をこわさないようにな。ところで、スイテキマンはミネラルウォーターは飲んだりするかな？」

スイ「たまに飲むけどおいしいね。」

博士「スーパーやコンビニで手軽にいろいろな種類のもが手に入るが、硬度の高いものを飲んだりするとお腹を下す人もいるようじゃ。」

スイ「硬度？言葉は聞いたことあるけど。」

博士「硬度とは水に含まれるカルシウムやマグネシウムの量で、硬度が高い水を飲むと胃腸が働きがよくなり、慣れていないとお腹がゆるくなる場合がある。例えば、ヨーロッパのミネラルウォーターは水源の特徴から硬度が高いことが多い。一方で、そうしたカルシウムなどのミネラルのバランスで味わいが

変わっているんじゃ。ちなみに日本の水道水は硬度の低い軟水※1がほとんどといわれておる。」

スイ「へー知らなかったよ。じゃあ水道水にもミネラルは入っているの？」

博士「入ってるぞ。地域によってバランスは様々じゃが、水道水もミネラルを含んだ水なんじゃ。」

スイ「味わいのある水なんだね。そういえば、水道水は臭いが苦手で飲まないって人を聞いたことがあるよ。」

博士「塩素臭(カルキ臭)は気になる人も多いかな？蓋のない容器で沸騰させれば臭いは消えるんじゃ。但し、水道水に必要な塩素の消毒効果もなくなってしまうから、沸かしたら早めに飲んでしまおう。」

スイ「なるほどね。ところで、水道水もミネラルウォーターも何気なく飲んでるけど安全性は大丈夫なのかな？」

博士「お、いい質問じゃ。水道水は世界でも厳しいといわれる水道法で定められた水質基準があり、市販のミネラルウォーターも食品衛生法上でミネラルウォーター類として種類別に扱われ、それぞれ成分規格や製造基準が定められている。近年は水質基準にならって厳しくなってきたようじゃ。」

「安全性もバッチグーだね。これからも水道水を安心して飲めるよ。」

博士「うむ。しかも、水道水なら2Lで約3円程度※2でもっともリーズナブルじゃ。水道企業団の送っている水道水は元々たどれば荒川や利根川※3、桶川・北本市内の深井戸を水源としているから地産地消ともいえるじゃろう。」

スイ「おー。経済的で環境にもいいってナウいし、チョベリグだね。」

博士「そう、超ベリーグッド！ってなんだか言葉がナウじゃないのう。」

※1 WHO(世界保健機関)の基準では硬度0〜60未満を軟水、60〜120未満を中程度の軟水、120以上を硬水とされています。水道企業団の水道水は約30〜90程度です。(単位はmg/L)口径20mm、月20㎡使用で計算

※2 河川を水源とする県営浄水場の浄水処理した水を購入しています。